

令和2年
7月号

地域おこし協力隊新聞



全村博物館構想担当

中田大慈

協力隊として阿智村に来て1年が経ちました。お蚕さまの飼育・記録から始まり、全村博のイベントや清内路煙火、地区行事の撮影などたくさんの方々に協力いただきました。楽しみになっていた花桃まつりの撮影は予想せぬ形で人のいない貴重な記録となりました。ドローンでの撮影も行い、映像は村のケーブルテレビや阿智家族のユーチューブチャンネルで流していただきました。

7月22日から園原ビクターセンターは、き木館で1年間の活動の中で撮影した写真を展示しているのを見ていただくと嬉しいです。

現在は熊谷元一さんの生誕110年記念事業を中心に活動を行っています。



ドローンで撮影した花桃

ます。11月にはシンポジウムの実施を予定しています。事前の学習会で

は教師として・写真家として・童画家としての3つの側面それぞれから人物像を探ります。7月31日に教師としての熊谷元一さんの学習会を行います。多くの皆さまにご参加いただければと思います。

2年目もたくさんの方々にご協力いただきながら活動していけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



浪合地区担当

伊藤志野

こんにちは！浪合地区担当の伊藤です。徐々に活動の規制も解除されはじめ皆さんと気を付けながらですが、話しやすい環境になりつつあります。そして、季節は流れてすっかり夏めいてきましたね。

最近の活動を報告させていただきました。年明けから取り組んできた自作できる害獣用の防護柵がとうとう設置完了しました！この防護柵を設置するにあたりたくさんの方の協力をいただき、本当に感謝ばかりです。

ありがとうございました。

しかし、設置してからが本番です。果たして柵は有効なのか、どういった点が問題なのかなど、これから検証していくことがたくさんあります。また、柵の外には鳥獣の被害を受けにくいと言われている作物を栽培し、こちらも検証していきます。

問題としては、私自身が畑の初心者のため段取りも悪く、皆さんの力を借りながらできないのでお手数をかけるばかりです。今回、農家さんの大変さをひしひしと感じ、私たちの大切な食べ物を作ってくださいることに感謝しきりでした。その作物を少しでも守れるように活動していきたいです。

また、休日には家の庭や畑の一部をお借りして自家用の野菜を育て始めました。まだ種類も少なく、知識もないのでこちらも教えていただきながら楽しんでいきます。コロナ禍で今までの生活が見直されているなか、少しでも自給できる生活というのは大切なことと実感しています。これからも、地域の皆さまと一緒に頑張りますので宜しくお願いします。